◆2024年2月の新刊　　日本キリスト教団出版局

長年、遠藤周作を研究してきた山根道公による作家・作品探究、全3巻完結！

遠藤周作探究 全3巻 最終回配本

Ⅲ 遠藤周作の文学とキリスト教

2024年
2月22日
刊行予定

山根道公（やまねみちひろ） 著

1960年、岡山県に生まれる。早稲田大学第一文学部卒業、立教大学大学院修了。文学博士。ノートルダム清心女子大学キリスト教文化研究所教授。遠藤周作学会代表。『遠藤周作文学全集』全15巻解題及び年譜、『井上洋治著作選集』全11巻の編者及び解題を担当。著書『遠藤周作と井上洋治——日本に根づくキリスト教を求めた同志』ほか。1986年より井上洋治神父とともに「風の家」運動を行い、現在もその機関誌「風（プネウマ）」を発行する風編集室（https://www.kazehensyuusitu.jp）代表。

遠藤周作における聖書理解、どのようにキリスト教を日本に根付かせようとしたのか、吉満義彦や井上洋治が彼に与えた影響、幾度にわたる彼の闘病経験が『沈黙』をはじめとする作品にどのように反映されているか等を吟味する。遠藤作品への理解を深める一冊。

A5判・上製・352頁・定価4,180円（本体3,800円＋税）　ISBN978-4-8184-1156-2　C0095

【シリーズ発売中】
『Ⅰ 遠藤周作　その人生と「沈黙」の真実』定価4,840円
『Ⅱ 遠藤周作「深い河」を読む——マザー・テレサ、宮沢賢治と響きあう世界』定価3,520円